

ひざし

2015 4

No. 194



第2F P水利組合
リールマシン入魂式の様子

16回定期総会開催



なう片康太郎部長(写真右円内)

ました。
冒頭の開会挨拶で片岡康太郎青年部長は、平成26年度のJA青年部活動を振り返り、部員各位ならびに係各位のご理解とご協力によって、各種事業を滞りなく実施出来たことに感謝を申し上げます、政府のTP



から来賓各位を迎えて開催しました。
JAえんゆう青年部は第16回定期総会を3月24日にJA本所大会議室で部員41名が出席のもと、各関係機関

P参加交渉問題等で先行き不透明な農業情勢が続いているが、農業者、そしてJA青年部の若い力を結集させて反対の声を上げていきたいと思います。
総会は、来賓のJAえんゆう中川菊夫代表理事組合長、湧別町農政課山崎幸一課長からの祝辞、武部新衆議院議員からの祝電披露の後、湧別町南兵村一区の三品拓也さんと湧別町富美の青柳圭介さんを議長に選出して議事進行をおこない、平成26年度事業報告ならびに収支決算、平成27年度事業計画ならびに収支予算、

JAえんゆう広報誌

ひざし

2015.4月号 No.194

今月の主な記事

JAえんゆう 青年部第16回定期総会	
JAえんゆう 青年部新役員紹介	2～3
第2F P 水利組合リールマシン入魂式 <small>ファームボンド</small>	
平成27年度遠軽町立荃アスパラ生産組合総会開催 融雪剤散布作業	4
JA 青年部畑作専門部定期総会	
JA 青年部酪農専門部通常総会	
JA 女性部酪農部会研修会	5
平成27年度外国人技能実習生9名を受入	6
特集～「TPP交渉問題を考える」～ 「TPPは憲法破壊の協定です。即時交渉離脱を。」(後編)	7
遠軽厚生病院だより	8～11
平成27年度新規採用職員紹介	12
退職者挨拶	13
理事会のあらまし	
人事異動のお知らせ	14
クロスワードパズル	
読者の声	15
2015年農作業安全確認運動 いもたま作造くん	16



表紙写真：第2F P 水利組合
リールマシン入魂式の様子

JAえんゆう青年部第



祝辞を述べる
JAえんゆう中川菊夫代表
理事組合長（上）と湧別町
山崎幸一農政課長（下）



開会にあたり青年部綱領を朗唱する青年部員の皆さんと開会挨拶をおこ

第16回 JAえんゆう青年部定期総会



平成27年度JA青年部 新役員一同

写真前列左より、片岡康太郎代表監事、志鎌英敏副部長、宍戸宏光部長、大泉隆喜副部長、岡田拓也監事、後列左より、水野暁理事、牧野俊介理事、長谷川雄基理事、村田康則理事、澤口未来理事、箭内優貴理事兼遠軽地区支部長、小崎光上湧別地区支部長

役員改選の全提出議案が滞りなく審議の上、満場一致で承認され、新たに湧別町南兵村三区の宍戸宏光さんを青年部長に選出し、新役員体制が決まりました。最後に、今年度末で卒部となった部員、そして新しく青年部に加わった部員から挨拶をもらい、盛会のうちに閉会となりました。



議長を務めた富美の青柳圭介さん(左)と南兵村一区の三品拓也さん(右)

灌水作業の安全と組合員の無病息災を祈願 第2F.P水利組合リールマシン入魂式

えんゆう管内の兵村地区では、国営ならば道営事業で用排水整備と圃場の土地改良、老朽化したリールマシンの更新が進められています。

今回、リールマシンの更新の一番手として、第2F.P水利組合に新しいリールマシン15台が3月に納品され、4月2日にリールマシンへの入魂式をとりおこないました。

入魂式は、上湧別神社の鎌田神主の取り進めて厳かにおこなわれ、第2F.P水利組合の山口秀雄組合長を始めとする組合員の皆さんと関係者一同が玉串を奉奠し、新しいリールマシンでの灌水作



灌水作業の安全と組合員の無病息災を祈りました

業の安全と組合員の無病息災を祈願しました。入魂式が終わった後は、取扱説明会と安全祈願祭がおこなわれ、盛会のうち散会となりました。

平成27年度遠軽町立茎アスパラ生産組合総会が開催されました

遠軽町の立茎アスパラ生産農家で構成する遠軽町立茎アスパラ生産組合総会は、3月20日にJA遠軽支所で、組合員ならびに関係者一同を集めて開催しました。

総会冒頭の組合長挨拶で、遠軽町瀬戸瀬の岡村貴幸組合長は、「昨年は出荷も順調に進み、過去最高の出荷数を出せました。ホテル等での評判も高く、今後もこの声に応えるためにもさらに出荷量を増やしていきたいましよう」と挨拶し、来賓として挨拶に立った佐々木修一遠軽町長も「ふるさと納税に対するお礼を皆さんのアスパラにしたところ申込みが殺到しています。遠軽町としてもうれしい限りです」と祝辞を送りました。

総会は、岡村貴幸組合長が議長を務めて、議事



開会挨拶を述べる岡村貴幸組合長

進行がとりおこなわれ、平成26年度事業報告ならびに収支決算を始めとする全議案が滞りなく承認され、組合員からも販路拡大にかかわる様々な新しい提案があり、盛会のうち閉会となりました。

融雪剤散布作業が進められています

今冬は積雪が多く、組合員の皆さんもビニールハウスや牛舎まわりの除雪作業に追われた年であったと思います。

3月に入り、冬の寒さも緩んできた中、えんゆう管内各地区の圃場では、4月から始まる畑起しや植付けなどに向けて、圃場への融雪剤散布作業が進められています。

融雪剤散布作業は、例年3月中旬から下旬にかけて、4月に植付けが始まる玉葱を定植する圃場や秋まき小麦の圃場を主におこなわれています。

身体に吹きつける風はまだ冷たいものの、春を思わせるようなまぶしい陽射しの中、雪の中でも走行出来るゴムクローラーに装着したブロードキ



融雪剤散布作業の様子

ヤスター（肥料散布機）を使って、白銀色の圃場に融雪剤が撒かれていき、走った跡が淡墨色の軌跡となって描かれる様子が各地区で見られました。

畑作専門部定期総会開催



畑作専門部新執行部の皆さん

J A 青年部畑作専門部は、3月19日にJ A本所で第16回定期総会を部員20名が出席のもと、各関係機関から来賓各位を迎えて開催しました。総会は、湧別町北兵村一区の

高嶋慎一さんが議長を務め、平成26年度事業報告ならびに収支決算をはじめとする全議案が滞りなく承認され、新しく湧別町北兵村三区の水野暁さんが畑作専門部長に就任しました。

☆新役員（敬称略）

部長 水野 暁（湧別町北兵村三区）
 副部長 牧野 俊介（湧別町北兵村一区）
 会計 長谷川雄基（湧別町上湧別屯田市街地）
 監事 大泉 隆喜（湧別町南兵村三区）

酪農専門部通常総会開催



挨拶を述べる酪農専門部の佐藤健二部長

J A 青年部酪農専門部は、3月20日にJ A本所で平成26年度通常総会を部員25名が出席のもと、各関係機関から来賓各位を迎えて開催しました。総会は、湧別

町北兵村三区の松浦慶太さんと遠軽町豊里の鈴木竜一さんが議長を務め、平成26年度事業報告ならびに収支決算を始めとする全議案が滞りなく承認され、新しく湧別町富美の村田康則さんが酪農専門部長に就任しました。

☆新役員（敬称略）

部長 村田 康則（湧別町富美）
 副部長 澤口 未来（湧別町北兵村三区）
 副部長 箭内 優貴（遠軽町美山）
 監事 片岡康太郎（湧別町札富美）
 監事 岡田 拓也（遠軽町千代田）

繁殖について学ぶ 女性部酪農部会研修会を開催

J A 女性部酪農部会は3月13日、オホーツク農業共済組合遠軽診療所で研修会を開催し、部員12名が出席しました。

今回の研修会では、酪農経営の基本であり、最も重要な「繁殖」について、オホーツク農業共済組合遠軽診療所の大橋輝彰獣医師にわかりやすく教えてもらいました。

大橋獣医師からは、「発情発見が繁殖成績改善の第一歩。作業しながら見るのではなく、牛を観察する時間を作って下さい」、「繁殖検診の目的が牛の集団治療であってはダメです。その他のデータとあわせて、自分の牛群のどこが問題なのか把握するためにおこない、飼養管理の改善と適切な治療に役立てて下さい」と話し、繁殖のメカニズム



女性部酪農部会講習会の様子

や繁殖の管理や検診などについて、様々なことを教えてもらいました。その後は、東亜薬品工業株式会社の朽木氏より、仔牛に用いる生菌剤について、話題提供してもらい、有意義なうちに研修会を終わることが出来ました。

外国人技能実習生 事前講習会 タイ人実習生9名を受入

畑作農家とJA青果物センターでは、昨年に引き続き、3月24日にタイから技能実習生を受け入れました。実習生の皆さんは12月までの間、農業にかかわる技能を学びます。

現在は、一ヶ月の事前講習で日本語を始めとして、日本の風習や農業にかかわる基礎知識を学んでいて、この後、4月下旬から各実習先での技能実習に入ります。

実習生につきましては、まだまだ日本の言葉や風習等に慣れていないことも多々あると存じますが、見かけたときはあいさつを交わしてもらおうなど、地域の皆さんで暖かく接していただけますようお願い申し上げます。



事前講習会の様子



クリチュユタ・ワランヤさん
(高柳 雅一 農場)



チュースーン・ベンジャマさん
(石田 昭夫 農場)



ピパツワタナクン・パリダさん
(斉藤 秀樹 農場)



ヤムケオ・スチャダさん
(青果物センター)



キッティシリモンコン・ガンヤさん
(青果物センター)



プーンシィ・サイフォンさん
(青果物センター)



ハッタシィ・サオワパップさん
(青果物センター)



チャトブルック・シプラパさん
(青果物センター)



ピサイ・セースパンさん
(青果物センター)

特集～「TPP交渉問題を考える」～



「TPPは憲法破壊の協定です。即時交渉離脱を。」《後編》

佐藤 博文
(弁護士)

「国の主権を損なうような
ISD条項は合意しない」

これは、安倍政権が誕生した平成24年末の総選挙において、自民党が掲げたTPP反対の公約スローガンです。

政府・自民党が、TPP協定に含まれるISD条項が、食の安全、医療・福祉・教育、労働法制、産業振興、地域振興などの様々な国内規制、非関税障壁を撤廃させることに本質があり、わが国の主権を侵害しかねないことを知っている証拠です。ところで、この耳慣れない「ISD条項」とは何でしょうか。

外国投資家（企業や個人）が、投資協定に反すると考えたときに、その国を相手に国際仲裁機関に訴えることができ、訴えられた国の政府はその仲裁判断に無条件に従うことを約束することを定めた条項のことです。

この場合の「政府」には中央政府だけでなく、地方自治体や政府投資

機関まで含まれ、「措置」には行政府の行為だけでなく、法律や制度、裁判まで広く含まれます。

簡単に言いますと、外国投資家の前に国家が自ら主権を制限し、彼らの金もうけの自由を最大限に保障してやる制度です

ISD条項に基づく提訴が急増したのは、1994年発効のNAFTA（北米自由貿易協定）からでした。累計件数が450件に及び、原告企業の数アメリカが断トツに多く、勝ったのはアメリカ企業だけだと言われています。仲裁の結果を秘密にできるので正確なことが分らないという状況です。何とも恐ろしい話です。

ISD条項は、国会が国民の最高意思決定機関であるとする憲法41条や、日本での紛争は日本の裁判所で解決できるとする憲法76条に反する、重大な憲法違反です。

経歴

弁護士。1954年生まれ。十勝管内更別村出身。実家は畑作農家。北大教育学部を卒業し、独学で司法試験に合格。1988年札幌弁護士会に登録。北海道合同法律事務所所属し、じん肺訴訟、道庁裏金問題、豊浜トンネル崩落事故訴訟、自衛隊イラク派遣差止訴訟、自衛官の人権裁判など、道内の憲法・行政・人権裁判を数多く手がける。道弁連憲法委員会事務局長。

第92回住民公開講座 『小児の最近の予防接種』

J A 北海道厚生連 遠軽厚生病院

小児科部長 三浦 優利香



予防接種制度は近年めまぐるしく変化しており、乳幼児期に受けるべきワクチンの数が増えています。ワクチンで予防可能な疾患 (vaccine-preventable diseases: VPD)、予防接種の効果、従来の単独接種に代わる同時接種について紹介させていただきます。

1. 最近の予防接種の変化

2006年、麻疹・風疹混合ワクチン (MRワクチン) が1回から2回の定期接種になりました。2008年にはHibワクチン、2010年には肺炎球菌ワクチンの接種が始まり、ともに2011年より公費助成が開始され、2013年から定期接種になっています。2011年には口タウウイルスワクチンの接種も始ま

りました。2012年、経口生ポリオワクチンに代わって不活化ポリオワクチン (IPV) が定期接種となり、さらにジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン (DPTワクチン) との四種混合ワクチン (DPT-IPVワクチン) が定期接種に導入されました。最近では昨年10月に水痘ワクチンが定期接種になっています。これらの他、任意接種のB型肝炎ワクチン、おたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチンは接種が勧められており、結果として乳幼児期には多数のワクチンを接種しなければならなくなっています。

2. VPDと予防接種の効果

① エンゼン感染症 (ヘモフィルス・インフルエンザ菌b型感染症)

インフルエンザ菌b型 (Haemophilus influenzae type b: Hib) による感染症です。Hibはおよそ生後3か月から5歳までの乳幼児に細菌性髄膜炎、敗血症、喉頭蓋炎などを引き起こします。

日本では、Hibワクチン導入前、

年間約600人がエンゼン髄膜炎を発症し、そのうち約2-3%が死亡、約15%に脳障害や聴力障害などの後遺症を残していました。また喉頭蓋炎による窒息での死亡も少なくありませんでした。

Hibワクチンは2008年に導入され、2013年より定期接種になりました。導入前と比較すると、侵襲性エンゼン感染症 (侵襲性感染症: 血液や髄液等、本来無菌的な部位から細菌が分離されるもの) の98%が減少しています。

Hibワクチンは生後2-6か月にそれぞれ27日以上あけて初回3回、初回終了後7か月以上あけて追加1回を接種します。生後2か月になったらできるだけ早く接種を開始し、生後6か月までに初回3回の接種を済ませて、1歳になったら追加接種を受けましょう。

② 肺炎球菌感染症

肺炎球菌による感染症です。肺炎球菌はおよそ生後3か月から5歳までの乳幼児に細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎、中耳炎などを引き起こしま

す。

日本では、肺炎球菌ワクチン導入前、年間約200人が肺炎球菌髄膜炎を発症し、そのうち約6-7%が死亡、約30%に脳障害や聴力障害などの後遺症を残しており、Hib髄膜炎よりもさらに重篤です。

肺炎球菌ワクチンは2010年に導入され、2013年より定期接種になりました。導入前と比較すると、ワクチンに含まれる血清型の肺炎球菌による侵襲性肺炎球菌感染症は激減しましたが、ワクチンに含まれない血清型によるものが増加しました。海外ではワクチンによって中耳炎や肺炎も減少したと報告されています。肺炎球菌ワクチンは生後2-6か月にそれぞれ27日以上あけて初回3回、初回終了後60日以上あけて生後12か月から15か月で追加1回を接種します。Hibワクチンと同様、生後2か月になったらできるだけ早く接種を開始し、生後6か月までに初回3回の接種を済ませて、1歳になったら追加接種を受けましょう。

③ B型肝炎

B型肝炎ウイルス(HBV)による肝炎です。乳幼児期にHBVに感染すると多くは無症状で、90%以上が持続感染に移行し、肝硬変や肝癌に進展することがあります。幼児期以降に感染すると、多くは急性肝炎後に治癒し、一過性感染で終わりますが、まれに劇症肝炎に進展して死亡することがあります。しかし最近では急性肝炎後に持続感染へ移行しやすいタイプのHBVが増えています。

輸血用血液のスクリーニング検査や母子感染防止事業によってHBV感染者数は減少していますが、現在も日本で年間6,000人以上が新たに感染し、約5,000人がHBVによる肝癌で、約1,000人が肝硬変で死亡しています。

B型肝炎ワクチンは現在、任意接種ですが、世界保健機関(WHO)は全ての子どもへ接種するよう勧奨しており、日本でも早ければ2016年に定期接種になる予定です。生後2-8か月で3回接種します。1回目と2回目の間は4週、1回目と3回目の間は20-24週あけます。生後2か月からHBsAg、肺炎球菌、ロタウイルスワクチンとの同時接種を開始することをすすめします。

またHBsAgキャリアの母から出生した児には、出生直後よりHBsAg抗体グロブリンとワクチンを用いた予防を行います。

④ ロタウイルス感染症

ロタウイルスによる感染症です。ロタウイルスは小児に急性胃腸炎を引き起こします。日本ではロタウイルス胃腸炎で毎年80万人が外来を受診し、8万人が入院、約10人が死亡しています。また脳炎・脳症を合併することもあります。2011年にロタウイルスワクチンが導入されました。ロタウイルスワクチンは重症化を約90%予防できますが、年齢により腸重積を発症する可能性があり、接種時期は厳守しなければなりません。

ロタウイルスワクチンは経口のワクチンで、任意接種です。ワクチン接種で重症化を約90%防ぐことができ、WHOは全ての子どもへ接種するよう勧奨しています。

ワクチンの種類により接種回数異なります。いずれのワクチンも生後6週から接種でき、4週間隔で2回または3回接種します。接種できる期間が短いので、初回は生後2か月になったらできるだけ早く接種を開始し、生後14週6日までに済ませましょう。

⑤ ジフテリア

ジフテリア菌による感染症で、呼吸困難、気道閉塞、毒素による合併症(心筋炎による心不全、神経炎による呼吸筋麻痺など)などで死亡することがあります。日本では1945年に約86,000人が罹患し、

そのうち約10%が死亡しましたが、1948年の定期接種開始以降はその数が激減し、1999年以降発生はありません。しかし、依然として開発途上国を中心に流行がみられるため、渡航先で感染する可能性はあります。また成人の免疫が低下していることから、今後国内で流行する可能性もあり、対応策の検討が必要になっていきます。ワクチンの追加接種後は、ほぼ100%が免疫を獲得し、約10年間持続します。

DPT-IPVワクチンとDTPワクチンが定期接種になっています。生後3か月-11か月にそれぞれ20-56日までの間隔をおいて初回3回、初回終了後12か月-18か月あけて追加1回DTPを11-12歳で1回接種します。生後3か月でヒブ、肺炎球菌ワクチンなどと同時接種で開始し、BCGワクチンの接種の前に初回3回を済ませましょう。

⑥ 百日咳

百日咳菌による感染症で、特有な咳発作を特徴とします。生後3か月未満の乳児が罹患すると、無呼吸発作、肺炎、中耳炎、脳症などの合併症で死亡することがあります。ワクチン導入前には子どもの中で流行し、患者数は年間10万以上で、その約10%が死亡していました。1958年にワクチンが導入され、1968年DPTワクチンとして定期接種に なって、患者数は減少しました。し

かし、DPT接種後の死亡が2例報告され、1975年に一時中止となる と、1976-1981年に全国的に流行し、死者数も増加しました。1981年に現行の改良型DPTが開始となり流行は阻止されましたが、2008年以降、再び流行するようになりまし た。これは成人の間で流行し、ワクチン接種前の乳児の感染源になりました。免疫が低下する青年期以降にも追加接種が必要と思われま す。

DPT-IPVワクチンが定期接種になっています。具体的な接種に関してはジフテリアの項を参照してください。

⑦ 破傷風

破傷風菌による感染症です。破傷風菌が産生する破傷風毒素により、筋肉の痙攣が起ります。開口障害、痙攣に始まって、数日以内に全身の筋肉に強直性痙攣が起り、後弓反張をします。次第に激しさと頻度を増し、死に至ることがあります。

1950年の患者数は1,915人、死亡者数は1,558人でうち過半数は15歳未満でした。1968年、DPTワクチンが定期接種になって以降患者数は減少し、1990以降は年間約100名前後で、そのうち93.5%が40歳以上でした。これは40代を境に急激に免疫が低下しているためであることがわかり、成人への追加接種が必要と考えられます。

DPT-IPVワクチンとDTPワクチンが定期接種になっています。具体的な接種に関してはジフテリアの項を参照してください。

⑧ 急性灰白髄炎（ポリオ）

ポリオウイルスによる感染症です。90%以上は不顕性感染で終わりますが、数%に感冒様症状や無菌性髄膜炎が起ります。0.1-0.2%が急性灰白髄炎による急性弛緩性麻痺を呈し、球麻痺や呼吸筋麻痺が進行して死に至ることもあるほか、麻痺を残すこともあります。1960年代に5万人を超える大流行があり、1961年に経口の生ワクチンが緊急導入されて流行は速やかに終息しました。1980年以降発生はありませんが海外では現在も流行が見られます。100万人に1人、生ワクチンによるポリオが発生し、接種者の便を介した感染の報告もあったため、2012年からは不活化ワクチンで定期接種となりました。

DPT-IPVワクチンが定期接種になっています。具体的な接種に関してはジフテリアの項を参照してください。

⑨ 結核

結核菌による感染症です。乳幼児では、初感染に続いて肺結核や肺門リンパ節結核を発症し、粟粒結核や結核性髄膜炎に進展して死に至る場合や、後遺症を残す場合があります。

3-4歳以下、特に1歳未満は重症化しやすいです。思春期以降では初感染から数年ないし十数年を経て、免疫機能の低下を誘因として肺結核を発症する場合があります。治療には半年以上かかります。

1935年から終戦まで、結核はずっと日本の死亡順位の第1位で、全死亡の12%を占めていました。この導入により、罹患率は1970年代まで順調に減少してきましが、80年代に入って増加傾向を示し、厚生省（当時）は1999年、「結核緊急事態宣言」を発しました。2000年の新規結核患者は39,384人（罹患率31.0）、結核死亡者は2,650人（結核死亡率2.1）でした。2013年の日本の罹患率は16.1まで減少していますが、依然として米国（3.1）の5.2倍、ドイツ（4.9）の3.3倍です。

BCGが定期接種になっています。5か月から8か月未満で1回接種します。HIV、肺炎球菌、DPT-IPVワクチンを3回受けた後の生後5か月ごろに接種しましょう。乳児期におけるBCGの感染予防効果は約75%で、10-15年持続します。

⑩ 麻疹

麻疹ウイルスによる感染症です。通常は7-9日で回復しますが、肺炎、中耳炎、クループ症候群、脳炎などを合併することがあります。脳炎は1,000人に1人か2人の頻

度で生じ、20-40%に後遺症を残し、致死率は約15%です。ごくまれに、罹患から数年を経て亜急性硬化性全脳炎という致命的な脳炎を発症します。

1990年代までは大規模な流行を繰り返していました。2006年にMRワクチン2回が定期接種になり、国を挙げて麻疹対策を行った結果、患者数は現在まで少なく抑えられています。ワクチンの副反応で急性脳炎を発症することがありますが、100万人に1人以下の割合で、自然感染の場合よりもずっと少ない頻度です。

MR（麻疹・風疹）混合ワクチンが定期接種になっています。1歳時に1期1回、小学校入学前1年間に2期1回を接種します。

⑪ 風疹

風疹ウイルスによる感染症です。発熱、発疹、リンパ節腫脹、関節痛を主症状とし、予後良好な疾患ですが、3,000人に1人の割合で血小板減少性紫斑病、6,000人に1人の割合で急性脳炎などを合併することがあります。免疫のない妊娠中の女性が感染すると、胎児が難聴、心疾患、白内障、精神運動発達遅滞などを来す、先天性風疹症候群を発症することがあります。

中学生の女子のみを対象に定期接種を行っていた時期があり、ワクチンを受けておらず免疫のない20-40

代の男性を中心に、2012から2013年に流行しました。その際には先天性風疹症候群も急激に増加しています。免疫のない成人へのワクチン接種が必要と思われず。

ワクチンは先天性風疹症候群の予防を第一の目的としています。MRワクチンが定期接種になっています。具体的な接種に関しては麻疹の項を参照してください。

⑫ 水痘

水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症です。紅斑、水疱、膿疱、かさぶたの順に進行する発疹が出現し、同時に各病期の発疹が混在します。重症な印象のない疾患ですが、日本では年間約100万人が罹患し、約4,000人が重症化から入院、約20人が死亡しています。まれに脳炎や、アスピリンとの併用によるライ症候群などの合併があります。免疫抑制状態にある児では、重症化して死に至ることもあります。免疫のない妊娠中の女性が感染すると、児が先天性水痘症候群を発症したり、児に重症水痘を引き起こしたりすることがあります。

2014年10月から水痘ワクチンが定期接種になりました。このワクチンにより約80%の発症予防効果があるといわれています。生後12-15か月で1回目、1回目から3か月以上あけて2回目を接種します。1歳になったら1回目を接種し、その3

か月後に2回目を接種しましょう。

⑬ 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

ムンプスウイルスによる感染症で、耳下腺の腫脹が特徴的です。無菌性髄膜炎の合併が多く（1/100人）、難治性の高度感音性難聴（1/500-1/1,000人）、急性脳炎（1/3,000-1/5,000人）を合併することもあります。成人では精巣炎、卵巣炎などを合併しますが、不妊になることはまれです。

おたふくかぜは小児を中心として3-4年周期の流行を繰り返しています。MMR（麻疹・おたふくかぜ・風疹）混合ワクチンが定期接種とされた1990-1993年には患者数が減少していましたが、再び周期的に流行するようになり、2001年、全国で年間約650名のムンプス難聴が発生しました。

おたふくかぜワクチンは任意接種です。先進国を中心として多くの国で、MMRVワクチンの2回接種により発生数が激減しています。そのため1歳以上で1回接種することになっていますが、1歳と小学校入学前1年間の2回接種が推奨されます。定期接種化が望まれますが、MMRVワクチン導入時の髄膜炎多発の件もあり、社会の理解を得ることが必要です。

⑭ 日本脳炎

日本ではブタで増殖し、コガタアカイエカが媒介する日本脳炎ウイルス

スによる感染症です。不顕性感染がほとんどですが、数百人に1人が発症し、発熱、頭痛、けいれん、意識障害を呈します。致死率は約20%で、30-50%に後遺症を残します。乳幼児では重い障害が残る可能性があります。

1966年頃までは年間1,000名を超える日本脳炎患者が発生し、致死率も30-50%と高いものでした。1965年に日本脳炎ワクチンが導入され、発生数は激減していましたが、ワクチンによると思われる脳炎が発生したため、2005年から積極的勧奨が差し控えられていました。その期間中に九州、四国で乳幼児の日本脳炎が発生し、勧奨は2010年に再開されました。現在国内での患者発生数は西日本を中心に年間10名以下です。

日本脳炎ワクチンは定期接種ですが、予防接種施行令により、日本脳炎ウイルスのまん延がなく患者が発生していない北海道は、定期接種を実施していませんでした。しかし北海道の子どもたちが日本脳炎の発生地域へ移動することもあること、また地球温暖化により日本脳炎の発生地域が北へ広がる可能性があることから、北海道でも早ければ平成16年より定期接種になる予定です。3歳で1期初回を接種し、初回接種後6か月以上あけて4歳で1期追加を接種、9歳で2期をそれぞれ1回ずつ接種します。

⑮ インフルエンザ

インフルエンザウイルスのA、B、C型による呼吸器感染症で、発熱、頭痛、関節痛、咳、鼻汁が主症状です。合併症として、肺炎、脳症、中耳炎、心筋炎、筋炎などがあります。毎年200-500人が脳炎・脳症を発症し、死に至る場合や、後遺症を残す場合が多くあります。インフル2009によるものでは病初期に喘息性気管支炎、肺炎、無気肺が多くみられます。特に乳幼児、高齢者などが重症になりやすいです。

流行は爆発的で、短期間で拡大しています。規模は様々ですが、毎年流行してきた歴史があり、今後とも注意を要します。インフルエンザワクチンは任意接種です。生後6か月から接種可能で、13歳未満は4週あけて2回、13歳以上は1回または2回接種します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスの感染やインフルエンザの発症そのものを完全に予防できませんが、重症化や合併症の発生を予防する効果は証明されており、重症化予防、目的だけでなく、重症化予防としても接種することをおすすめします。

3. 同時接種

これらのワクチンを従来通りの単独接種で行うと、接種の終了が遅くなり、VPDにかかりやすい時期に免

疫が得られていないという可能性があります。それを防ぐために、1日で複数のワクチンを接種する同時接種が必要になります。同時接種には以下のような利点があります。

1. 各ワクチンの接種率が向上する。
2. 子どもたちがVPDから早期に守られる。
3. 保護者の経済的・時間的負担が軽減する。
4. 医療者の時間的負担が軽減する。

また同時接種については以下のことがわかっています。

1. 複数のワクチンを同時に接種してもそれぞれのワクチンの効果は変わらない。
2. 複数のワクチンを同時に接種してもそれぞれのワクチンの有害事象や副反応の頻度は変わらない。
3. 同時接種で接種できるワクチンの本数に制限はない。

子どもたちをVPDから守るために、定期接種・任意接種にかかわらず、これらのワクチンはいずれも重要です。同時接種でそれぞれのVPDに対する免疫をできるだけ早く獲得し、子どもたちがVPDから守られるようにしましょう。

平成27年度新規採用職員紹介

本年度、男性2名、女性4名の新規採用職員が入組いたしました。
今後とも組合員の皆さんの温かいご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

☆質問事項☆

- ①生年月日・血液型 ②出身地・出身校 ③特技・趣味 ④自分の性格
⑤JA職員としての抱負

①平成3年6月27日・A型
②湧別町・北翔大学
③趣味：ランニング
④冷静沈着
⑤自分が今出来る事を考え、行動したいと思います。早く組合員の方々の顔と名前を覚え、信頼されるようがんばっていききたいです。



(農産課)
ふくしま みどり
福島 碧

①平成5年3月27日・B型
②北見市常呂町・酪農学園大学
③趣味：ランニング、ライブ鑑賞
④緊張しやすい
⑤早くえんゆう農協の戦力の一人となれるようがんばります。組合員の皆様よろしくお祈いします。



(本所管理課付)
なか がわ こう き
中川 弘貴

①平成9年2月12日・O型
②遠軽町生田原安国・遠軽高校
③趣味：スノーボード
④人見知りですが、人と話すのは好きです。負けず嫌い。
⑤業務内容を早く覚え一生懸命仕事に取り組みます。また、笑顔で明るく沢山の力になれるようがんばります。これからよろしくお祈いします。



(丸瀬布支所)
ささき きょう か
佐々木 杏華

①平成8年4月16日・O型
②湧別町・湧別高校
③趣味：お菓子作り
④明るく元気
⑤日々向上心を持ち、一日でも早く立派なJA職員になれるようがんばります。よろしくお祈いします。



(金融課中湧別支所)
かわさき な お
川崎 菜緒

①昭和61年9月9日・A型
②遠軽町生田原・遠軽高校
③趣味：イラスト、音楽鑑賞
④少し人見知りですが、一度話せば誰とでもすぐに打ちとけられる性格です。
⑤今まで以上に気を引き締め、任される仕事には責任を持ち、また自分の意思も持てるよう自信を持って仕事を日々学んでいくことを忘れず職員としての自覚をもって努力します。



(本所資材課兼エコーブ富美店)
や はぎ あゆみ
矢萩 あゆみ

①昭和63年12月21日・A型
②上湧別・遠軽高校
③趣味：野球
④明朗活発
⑤一つ一つの仕事を全力でこなします。



(ローソン上湧別店)
さいとう かける
齋藤 翔



退職者挨拶



(株)ジェーイーえんゆう出向
遠藤 隆

早春の候、組合員の皆様におかれましては、何かとご多忙なものと存じます。

さて、私事ではございますが、三月末日をもちまして定年退職させていただきました。

昭和50年に旧遠軽町農業協同組合に入組して40年間務めさせていただきました。

これも組合員の皆様、役職員の皆様の暖かいご指導ご助力をいただけたからだと思いません。ありがとうございました。

なお、退職後は(株)ジェーイーえんゆうスタンド様のご厚意により務めさせていただくことになりました。また、お世話になると思いますがよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員ならびに関係者の皆様方の末永いご健勝をご祈念申し上げ、また、えんゆう農協の益々のご発展をご祈念申し上げます、退職の挨拶といたします。



畜産課生産振興係
滝口 隆 弥

早春の候、組合員の皆様におかれましては、何かとご多忙なものと存じます。

さて私事ではございますが、三月末日をもちまして退職させていただきました。

平成17年旧生田原町農協に入組して以来、約10年間奉職させていただきました。

この間には組合員の皆様を始め、役職員の皆様には大変お世話になりました。

在職中には公私共に多々ご迷惑をお掛け致しましたが、温かいご指導・ご鞭撻下さったことを厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、又えんゆう農業協同組合の益々のご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。

大変お世話になりました。



本所金融課
中元 美 穂

早春の候、組合員の皆様におかれましては、何かとご多忙なものと存じます。

さて、私事ではございますが、三月末日をもちまして退職させていただきました。

平成21年に入組してから、本所金融課、金融課中湧別支所に勤めさせていただき、この間は大変お世話になりました。

在職中につきましては、皆様方に数々のご迷惑をおかけしながらも、至らない私にご指導と温かいご支援をいただきましたことを心より厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を、そして、えんゆう農協の益々のご発展をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。

今まで本当にありがとうございました。

理事会のあらまし

第2回理事会（平成27年3月24日）

◇報告事項

1. 「独立監査人の監査報告書」及び全国監査機構決算監査結果について
 2. 決算監査の結果について
 3. 職員の採用及び退職、人事異動について
 4. 経済委員会開催結果について
 5. JAえんゆう政治連盟収支報告について
 6. 組合員の異動について
 7. 地区別懇談会の開催について
 8. 役員推薦委員会の開催結果について
 9. その他
 - ・ 4～6月配合飼料価格について
 - ・ (株)遠軽農業振興公社への増資について
-
2. 平成27年度事業計画の設定について
 3. 第16回通常総会議決権行使に当たっての留意事項について
 4. 平成27年度の余裕金運用について
 5. 信用の供与等の限度額の設定について
 6. 組勘貸越極度額の設定について
 7. 組合員に対する資金の貸付及び農林漁業資金の借入について
 8. 理事に対する資金の貸付及び農林漁業資金の借入について
 9. 出資金の譲渡について
 10. 玉葱本精算見込みについて

◇議案

1. 第16回通常総会参考資料について
- 原案通り承認されました

人事異動のお知らせ

左記の通り、人事異動がありましたのでお知らせいたします。

(順不同)

《異動》 (3月1日付)

池田 真治

ローソン上湧別店 店長

← ローソン遠軽厚生病院店 店長

《異動》 (4月1日付)

渡辺 勝則

(株)ジエーエえんゆう 出向

←

(株)エーコープえんゆう 出向



出会い、暮らし、思い出。そして、別れ・・・。

人生最後の葬祭の儀式。

それは故人の哀悼の念を捧げる厳粛な場ではなくてはなりません。

えんがる斎場は、突然に訪れた予告のない儀式をつつがなく執り行うため、悲しみに暮れるご遺族に、最良の方法と、こまやかな心くばりでご奉仕いたします。

個人葬をはじめ、多くのご会葬の方々をお迎えする大規模な社葬、団体葬など、宗教・宗派を問わず、最新の設備で、葬祭に関するすべてのことをお手伝いさせていただきます。

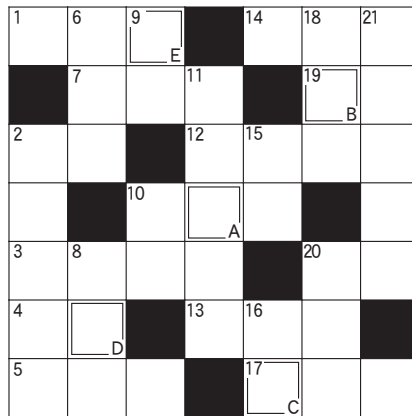


〒099-0401 北海道紋別郡遠軽町学田2丁目6番地1

TEL (0158) 42-9898

FAX (0158) 42-9933

プレゼント付きクロスワードパズル



A	B	C	D	E

3月号の答えは「ニコウガク」でした。いよいよ春到来ですね。当選者は下記の方々です。

湧別町開盛 佐々木公子 さん
 湧別町中湧別中町 鹿野内集子 さん
 遠軽町大通南2丁目 金子 杏香 さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り **4月25日(土)**

タテのカギ

- 2 奥さんを大切にしている男性
 - 6 初夏の空をすいすいと飛ぶ鳥
 - 8 こんこんと水が湧き出ます
 - 9 刺身によく添えられている花
 - 10 ポツと赤らめるもの
 - 11 丸木を組んで造った建物
 - 15 父は口バ、母は馬
 - 16 新鮮な鶏卵だと、皿に割ったとき盛り上がります
 - 18 日光が当たっている場所
 - 20 まきをくべて使う調理設備
- 長崎名物の麺料理

ヨコのカギ

- 1 4月は卯月(うづき)、5月は空からポツポツと落ちてきます人間万事が馬
- 3 川端康成が書いた『の踊子』短時間うとうと寝ること
- 5 秘密や悪事を白日の下にさらすこと
- 7 大股で歩く人は広め
- 10 具をホワイトソースであえて焼いた料理
- 12 戸をびったり閉めないと開きません画家のゴーギャンが晩年を過ごした島
- 13 5月4日はの日の
- 17 農作業に必要な道具をしまっておく建物
- 20 にぎりずしを数えるときに使う言葉

読者の声

春はそこまで来てきているようですが雪はたくさんありますね。自然の力、人は従うしかないようですネ。
(匿名)

この号が皆さんの手元に届く頃には土色の大地が広がっているでしょうね。そう思うと一年は本当に早いですね。

繰り返しの吹雪に悩まされた今年の冬。でも春が来ましたね。(匿名)

厳しい冷え込みや風雪も嘘のように穏やかな陽気が続くようになりましたね。

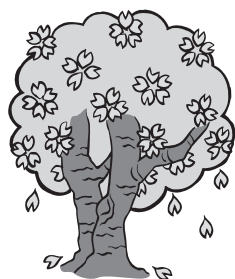
土日に長女一家がしばらくぶりに遊びに来ました。主人はスノーモービルに乗せたくて、待っていましたとばかり、孫を乗せて走り回っていました。5年

生の孫も運転させてもらって楽しんでいました。婿さんも今年は十分に乘ったと言って喜んで帰っていきました。主人も婿さんや孫が満足して帰ったので気分を良くしました。
(P.N ゆうの母より)

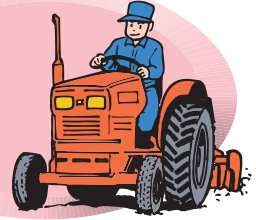
たくさん遊んでもらえてお孫さんも楽しかったでしょうね。

出産予定日が近づいています。元気な子どもが産まれるようがんばります。(匿名)

元気なお子さんが産まれることを祈念いたします。お便り待っています。

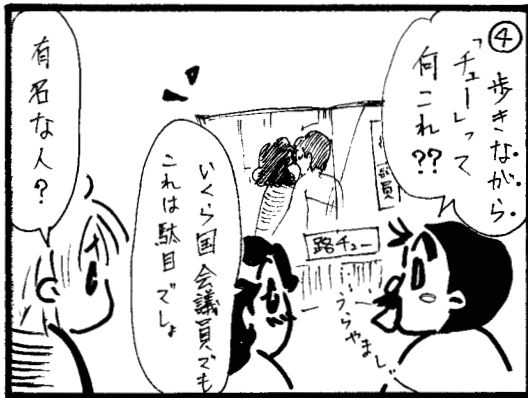


安全確認の徹底で 農作業事故ゼロ



春を迎えて、まもなく畑起こしや肥料散布、農作物の植付けなど、農業機械を使った作業が始まりますが、例年、農作業事故が増える時期です。

安全確認を徹底して、農作業事故にご注意いただき、今日も「事故ゼロ」で家族が待つ食卓に帰りましょう！



第180話...しながら○○

いもたま作造くん



作: HIDETO 絵: HISAMI